

Q 工場への断熱工事に対して支援をすべきだ。

A 必要性は認識している。財源も含めて検討を進めている。

農業施策

Q 農業経営基盤強化促進法の地域計画策定の進捗状況はどうか。

A 計画の協議の中では「農地の担い手を決めることは簡単ではない」などの意見が出ている。計画は令和7年3月に策定するが今後も更新していく。

Q 新規就農者の育成支援について、基幹的農業従事者の平均年齢は68.7歳。稲作農家の親元就農に対し支援すべきではないか。スマート農業に取り組む青年就農者に情報提供が必要ではないか。

A 親元就農についてはより効果的な支援策を検討したい。スマート農業は、県央農業振興会議が先進地視察研修を実施している。

年収103万円の壁

Q 減税による市民税の減収はいくらか。税収減による地方交付税での措置はどうか。不足する全額を恒久財源で措置するよう国に要望すべきだ。

A 15億円減収の見込み。現在と同じ

した。来年度設置できるのか。

A 冷房設備の必要性は十分に理解している。検討を進めているが詳細は確定していない。

諸橋徹次博士奨学金について

Q 奨学金の利用実績は、貸与事業の奨学金は8割を超えているが、給付事業の奨学金は5割以下。特に高校生等の奨学金は25%しか利用がない。返済不要にも関わらず予算の4分の1しか利用されないのは、保護者の所得要件など給付条件に問題があるからで、見直しが必要ではないか。

A 想定される利用対象者の実情を検証し、見直しを検討したい。

諸橋徹次博士奨学金事業の実績						
令和5年度		当初予算		決算		利用率
		一人あたりの貸与・給付額	予算額	利用人数	金額	
貸与事業	大学生等奨学金	54万円	1,998万円	31	1,674万円	84%
	看護職員奨学金	60万円	1,200万円	19	1,140万円	95%
給付事業	高校生等奨学金	6万円	1,440万円	61	366万円	25%
	海外留学奨学金	200万円	400万円	1	200万円	50%

制度で交付税措置がされた場合、減収額の75%は基準財政収入額に反映される。動向を注視し必要に応じて要望を行いたい。

長橋 一弘 議員の質問

三条市に対する住民訴訟について

Q 以下について質問

・ヘルストラディショナルツアーの事業の所管である営業戦略室職員の退職について

・一者随意契約について

・第一種旅行業者登録について

・コロレへの3800万円の再委託と5000万円の金の流れについて

・翻訳業務350万円について

・国定前市長の負の遺産について

・滝沢市長と島田前社長とで取り交わされたという覚書について

・ヘルストラディショナルツアー企画5000万円の成果について

・内閣府の地方創生推進交付金について

・ワンテーブル側からの接待について

・コロレからサージカルマスクの寄附を受けたことについて

A 答弁はいずれも「係争中のため答弁は控える」。



燕 幸男 議員の質問

市長の所信表明について

Q 三条市立大学の学びの環境のさらなる充実を図るために、どのような取り組みでいくのか。今年度末には初めて卒業生が羽ばたくが、この地域に就職する学生は何人いるのか。地域企業と連携する企業は何社あるのか。

A 産業界や地域全体の発展のため産学連携実習をさらに進め、企業との共同研究等、地域企業に寄り添った活動を期待している。産学連携実習において現在155社と連携し、今年度は117社で学生が学んだ。また、今年春の卒業生で燕三条地域の企業への内定状況は、現時点では9名となっている。

保育士確保について

Q 今年度から知り合いの保育士を紹介した場合に手当を支給する保育園等に補助を行う制度を開始した。これまでの問い合わせや契約成立等の活用状況はどうか。

A 現在7法人12施設から制度を活用したいと聞いており、そのうち3法人5施設は運用開始に向けた準備が完了。その他の4法人7施設は年度内に諸規定の整備が整う予定である。



西川 重則 議員の質問

市長の政治姿勢について

Q 所信表明で、国の人口問題研究所の将来人口推計に触れながら、現在約9万1000人の三条市の人口が、令和32年には約6万3000人まで減少すると述べられたが、二期目の任期のスタートに当たって25年先の将来人口に触れることについて、その真意はどこにあるのか。

A 1期4年を務める中で、多くの市民から「市長、政治家というのは夢・ビジョンを語るのが役割だ」と叱咤激励を受けた。一方で将来の人口減少という中で、道筋を示すこともリーダーの役割と考える。現実的課題にも目を背けることなく立ち向かっていくんだということをも市民と共有したく、25年後の人口推計をお示しした。

防災対策について

Q 三条地震から200年を前に、能登半島地震を教訓にした三条市の地震に対する備えをどう考えるか。犠牲者が1500人を超えたという想像を絶するような大地震が、過去の三条市で起きていたという事実を風化させることなく、水防演習同様の住民の生命と財産を守るべき取り組みを行うべきではないか。

Q eスポーツを活用した高齢者の支援について

A eスポーツが高齢者に与える影響や効果をどう考えるか。

A 若年層、子どもに人気のあるコンテツであるeスポーツを活用することは、高齢者の社会参加を促す手段として有効だと考える。



「eスポーツ」体験 太鼓ゲームに挑戦！



竹山 嘉一 議員の質問

本寺小路の観光地化

Q 本寺小路に市外県外から訪れる人を増やし、お金を落としたい。ただ、ただくことが必要だ。歴史文化の溢れ

きと思うがいかがか。

A 県内では、長岡平野西縁断層帯があり、地震が発生した場合、三条市にも大きな被害が想定される。過去の災害の記録や最新の被害状況なども踏まえて対策を講じていきたい。

小林 誠 議員の質問

柏崎刈羽原発の再稼働について

Q 柏崎刈羽原発7号機は「地元自治体が同意をする前に核燃料を装填するというのは全国的に見て異例」と報道され、再稼働が目下だ。新潟日報社アンケートでは、再稼働について、県知事が県民に信を問う手法として、県民投票との回答が約6割を占めた。市長から県民投票実施を知事に要望する考えはないか。

A 県民投票を求める署名活動の結果や、その後の県議会の結果などを踏まえ県知事が総合的に判断すると捉えている。

学校体育館の冷房設備について

Q 令和6年第2回定例会で学校体育館の冷房設備の設置について、「検討し早急に方向性を出したい」と答弁

るこのエリアの日中の回遊促進のため、日中の上限料金を設定することに協力いただいた民間駐車場に市として補助を出す施策を取れないか。

A まずは日中の本寺小路周辺の実態把握をさせていただきたい。

迅速な救急搬送の仕組みづくり

Q 事前登録してあれば救急搬送時の搬送時間短縮に繋がる「三条ひめさゆりネット」の存在自体が市民に知られていない。周知方法の改善が必要ではないか。

A 今回の意見も踏まえ、周知方法について三条医師会と話し合っている。

起業に特化した地域おこし協力隊の募集

Q 石を投げたら社長に当たると言われるくらい経営者の多い三条市。「起業するなら三条で」といった少し尖ったキャッチフレーズを使い、起業や事業承継に絞った協力隊募集をするべきではないか。

A 事業承継の協力隊募集の他市の事例は、北海道湧別町において町有林の材木を活用した木育活動に従事した隊員が、町内で唯一のエゾシカの食肉加工の事業所を承継した例がある。三